

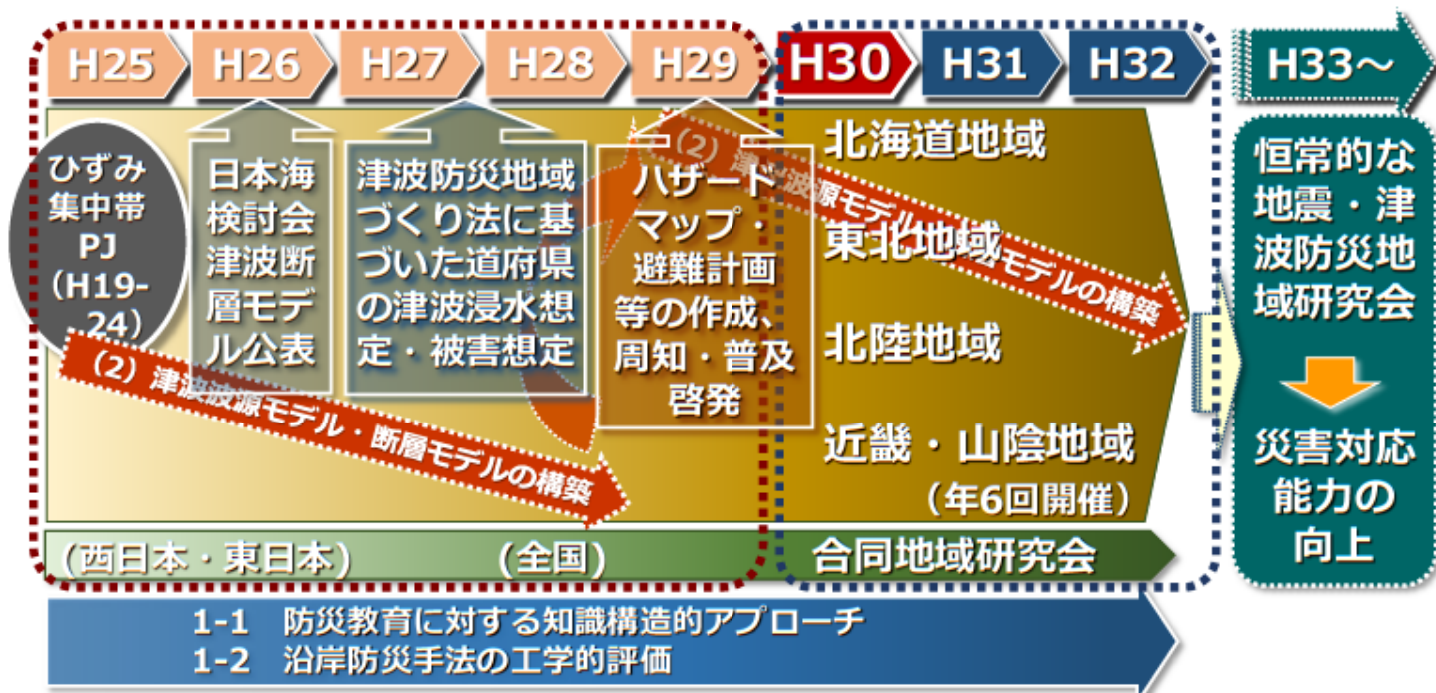


1-3 地域研究会・合同地域研究会の実施



東京大学地震研究所

地域研究会の開催計画



●開催方針

- 本プロジェクトの成果を、自治体やライフライン事業者等が講ずべき施策に反映できるよう、地域ごとに分かり易く伝達。
- 市民の防災意識醸成や行動に結びつくような自治体からの働きかけができるよう、自治体等の理解を促進。

平成30年度 地域研究会の開催実績（テーマと内容）



地域	テーマ	内 容
北海道 (渡島管内)	地域防災力向上 勉強会	●講 演「渡島半島周辺での地震発生ポテンシャルを考える」 「胆振東部地震の現場から—自治体の災害対応、被災者支援を中心に」 ●意見交換
北海道 (檜山管内)	地域防災フォーラム in 江差「みんなで備えよう！地震・津波への備え」	●講 演「北海道南西部と沖合における地震・津波について」 ●防災井戸端会議（WS）「住民との協働、各機関との連携による地震・津波防災を進めるために、今できること」
青森県	日本海中部地震から 35年 ～過去を振り返り、 今後の教訓とする ために～	●講 演「青森県の地震・津波のポテンシャル」 「あれから35年～何が変わったか～」 「津波研究・津波即時予測技術の最前線」 ●パネルディスカッション「日本海中部地震から35年 ～過去を振り返り、今後の教訓とするために～」
山形県	山形県の 津波防災	●講 演「庄内地域周辺の地震・津波災害」 ●意見交換「庄内地域周辺に影響を及ぼす地震・津波への対応 ～各機関が講ずべき対策に向けて～」
新潟県	津波防災地域づくり にかかる意見交換会	●講 演「堆積物からみた日本海の津波履歴研究の現状と課題」 ●情報提供「津波災害警戒区域等指定の事例について」 ●意見交換「新潟県の地震・津波防災～各機関が講ずべき対策に向けて～」
富山県	富山県の地震・津波 防災～正しく恐れて、 正しく備える～	●講 演「富山県で考えるべき地震と地震災害」 「効果的な災害対応を実現するための『状況認識の統一』 ～現代社会でできること・できないこと～」 ●意見交換「富山県の地震・津波防災～正しく恐れて、正しく備える～」
京都府	京都府の 津波防災	●講 演「地域特性を考慮した津波避難計画について」 ●意見交換「京都府日本海沿岸における津波避難計画について～地域特性を考慮して～」

3

平成30年度 地域研究会の開催実績（参加機関）



地域	国			道県			市町村	消防 警察	地域 防災	ライフライン 事業者	研究者	参加 機関 拡大	プレス 公開
	地整・ 開発局	出先 機関	気象 台	海保	関係 部局	出先 機関							
北海道 (渡島管内)	-	○	◎	○	◎	◎	○	○	-	-	◎	○ (自衛隊)	-
北海道 (檜山管内)	○	◎	○	○	◎	○	○	○	(○)※1	○	◎	○	○※1
青森県※2	-	○	◎	-	◎	○	◎	○	○	○	◎	-	-
山形県	-	○	○	○	◎	◎	○	○	-	-	-	-	-
新潟県	◎	○	○	-	◎	-	○	-	-	●	○	○	○※3
富山県	○	○	○	○	◎	○	○	○	○※4	○	○	-	○※4
京都府	○	○	○	○	◎	○	◎	○	-	-	◎	-	-

◎：事前協議を含め主体となる機関。

◎○：共催、協力機関。

●：新規参加機関。

※1：北海道地域研究会（檜山管内）は第一部を地域住民、町内会にも公開、第二部は行政担当者・ライフライン事業者が参画、第一部、第二部ともプレス公開。

※2：青森県地域研究会は新規立ち上げ。

※3：新潟県地域研究会は講演をライフライン事業者に公開、プレス公開。

※4：富山県地域研究会は第一部を一般公開、プレス公開、第二部は地域研究会構成機関を対象。

4

平成30年度 開催結果（予定）



●第7回 北海道地域研究会（渡島管内：函館市）

テーマ 地域防災力向上勉強会

開催月日 平成31年3月19日（予定）

内容 講演-1「渡島半島周辺での地震発生ポテンシャルを考える」
 （講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授）
 講演-2「胆振東部地震の現場から—自治体の災害対応、被災者支援を中心に」
 （講師：定池 祐季氏 東北大学災害科学国際研究所 助教）
 意見交換



備考 ※北海道日本海側沿海は他府県に比べ範囲が広域なため、一定の行政区分で捉え、今年度は渡島管内（函館市）と檜山管内（江差町）の2回に分けて2日間開催。
 ※函館地方気象台と共催とし、北海道渡島総合振興局が後援。

平成30年度開催結果（予定）



●第7回 北海道地域研究会（檜山管内：江差町）

テーマ 地域防災フォーラム in 江差
 ～みんなで考えよう！地震・津波への備え～

開催月日 平成31年3月20日（予定）

内容 第一部（午前の部）講話「北海道南西部と沖合における地震・津波について」
 （講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授）
 第二部（午後の部）防災井戸端会議（WS）「住民との協働、各機関との連携による地震・津波防災を進めるために、今できること」
 （進行役：定池 祐季氏 東北大学災害科学国際研究所 助教）



備考 ※北海道日本海側沿海は他府県に比べ範囲が広域なため、一定の行政区分で捉え、今年度は渡島管内（函館市）と檜山管内（江差町）の2回に分けて2日間開催。
 ※北海道と共催とし、北海道開発局、札幌管区気象台が協力。
 ※午前、午後の二部制。
 ※第一部は広く一般に公開、プレス公開。
 ※第二部は、近隣市町村をはじめ防災関係機関を対象。

地域防災フォーラム in 江差
 ～みんなで考えよう！地震・津波への備え～

日時 平成31年3月20日（日）10:00～17:00
 会場 北海道 檜山振興局 4階 会議室
 住所 北海道檜山郡江差町1-1-1 TEL: 0134-24-0000

第一部 講話
 1 「北海道南西部と沖合における地震・津波について」
 佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授

第二部 防災井戸端会議（ワークショップ）
 「～住民との協働、各機関との連携による地震・津波防災を進めるために、今できること～」

進行役：定池 祐季氏 東北大学災害科学国際研究所 助教

平成30年度 開催結果



●第1回 青森県地震・津波防災地域研究会

テーマ 日本海中部地震から35年
～過去を振り返り、今後の教訓とするために～

開催月日 平成30年12月17日

第一部：講演
1. 「青森県日本海側の地震・津波の特徴」
(東京大学地震研究所 佐藤比呂志 教授)
2. 「あれから35年～何が変わったか～」
(弘前大学大学院理工学研究科 小菅 正裕 教授)
3. 「津波研究・津波即時予測技術の最前線」
(弘前大学大学院理工学研究科 前田 拓人 准教授)

内 容

第二部：パネルディスカッション
「日本海中部地震から35年
～過去を振り返り、今後の教訓とするために～」

※コーディネータ
(弘前大学大学院理工学研究科 小菅 正裕 教授)

出席機関 県 市町村 消防・警察 地整 気象台 教育機関 研究者

備 考 ※青森県弘前地域（津軽地方日本海側）を対象として新規立ち上げ。
※弘前大学と共催、学生にも公開。

7

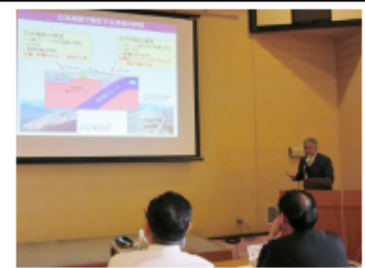
平成30年度 開催結果



●第1回 青森県地震・津波防災地域研究会

テーマ 日本海中部地震から35年
～過去を振り返り、今後の教訓とするために～

開催月日 平成30年12月17日



8

平成30年度 開催結果

● 第6回 山形県地震・津波防災地域研究会

テーマ 山形県の津波防災

開催月日 平成30年9月18日

内容
 第一部 講演「庄内地域周辺の地震・津波災害」
 (講師：佐藤 比呂志 東京大学地震研究所 教授)
 第二部 意見交換「庄内地域周辺に影響を及ぼす地震・津波への対応
 ～各機関が講ずべき対策に向けて～」

出席機関
 県 市町 消防 警察 気象台 海上保安部 地整
 県関係
 部局

備考 ※既存組織の庄内地域地震・津波等災害対策連絡協議会津波対策部会と共催。



平成30年度 開催結果

● 第7回 新潟県地震・津波防災地域研究会

テーマ 新潟県の津波防災 (津波防災地域づくりに関する意見交換会)

開催月日 平成30年11月7日

内容
 (1) 講演「堆積物からみた日本海の津波履歴研究の現状と課題」
 (講師：卜部 厚志 氏 新潟大学 災害・復興科学研究所 准教授)
 (2) 情報提供「津波災害警戒区域等指定の事例について」
 (国土交通省 水管理・国土保全局 水防企画室 課長補佐 相澤 竜哉 氏)
 (3) 意見交換「新潟県の地震・津波防災～各機関が講ずべき対策に向けて～」

出席機関
 県 市町村 地整 気象台 ライフライン 研究者

備考 ※新潟県と共催。
 ※講演は地方指定公共機関 (ライフライン事業者等) にも拡大、プレス公開。



平成30年度 開催結果

●第6回 富山県地震・津波防災地域研究会

テーマ 富山県の地震・津波防災～正しく恐れて、正しく備える～

開催月日 平成30年10月22日

第一部 地域防災フォーラム「富山県の地震・津波防災～正しく恐れて、正しく備える～」

内容
 講演-1 「富山県で考えるべき地震と地震災害」
 (講師：岩田 知孝氏 京都大学防災研究所 教授)
 講演-2 「効果的な災害対応を実現するための『状況認識の統一』
 ～現代社会でできること・できないこと～」
 (講師：井ノ口宗成氏 富山大学都市デザイン学部 准教授)

第二部 防災関係者意見交換会「富山県の地震・津波防災
 ～正しく恐れて、正しく備える～」



平成30年度 開催結果

●第6回 富山県地震・津波防災地域研究会

テーマ 富山県の地震・津波防災～正しく恐れて、正しく備える～

開催月日 平成30年10月22日

備考 ※第一部は富山県と共催とし、一般公開、プレス公開。
 ※第二部は地域研究会構成機関を対象。

平成30年度 開催結果



●第2回 京都府地震・津波防災地域研究会

テーマ 京都府日本海沿岸における津波避難計画について～地域特性を考慮して～

開催月日 平成30年12月25日

第一部 講演「地域特性を考慮した津波避難計画について」
 (講師)：鈴木 進吾 氏 防災科学技術研究所 災害過程研究部門 副部門長、主幹研究員

第二部 意見交換「京都府日本海沿岸における津波避難計画について～地域特性を考慮して～」

出席機関



13

平成30年度 地域研究会 開催結果



●効果 (アンケート調査)

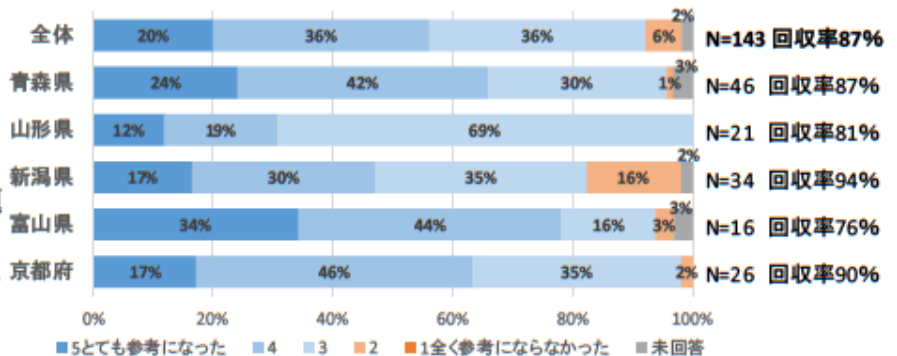
① 各機関の防災対策に参考 (右図)

② 自由意見

- 他機関との連携・情報共有
 - ・他機関 (特に市町村) の状況や課題等を知ることができた
 - ・他機関との連携の必要性、他機関との顔の見える関係ができた など

● 理解促進

- ・日本海側と太平洋側の違い (地域の特性、メカニズム、避難、行動、対応等)
- ・防災の基本的考え方、長期的なまちづくりの視点 など



●残り2年間に向けて

① 地域の主体性 (企画、共催、運営、周知、情報提供等)

② 持続的連携体制の枠組み (関係各機関の継続的参画)

※ 道府県、国交省 (本省、開発局、各地整)、気象台、研究者に加え地域 (市町村等) の協力

★ 今後取り組むべき事項

- ・小規模自治体の担当兼務
- ・発災時の全庁対応
- ・地域・住民への周知
- ・具体的対策への反映 など
- ・担当者、庁内職員の理解促進と心構え
- ・他機関との連携、防災教育
- ・防災意識の継続性 など

★ 参画機関の拡大→分かり易い情報の伝達 (翻訳)

地域	企画	共催	運営周知等	情報提供	参集範囲
北海道 (渡島管内)	●	●	●	●	●
北海道 (檜山管内)	●	●	●	●	●
青森県	●	●	●	●	●
山形県	●	●	●	-	●
新潟県	●	●	●	●	●
富山県	●	●	●	●	●
京都府	●	-	●	●	●

14



- **人事異動に伴う継続性の確保**
- **外からの刺激の効果**
- **内発と継続の促進**
 - ・ 効果 → 連携体制構築の意識醸成
 - ・ 課題 → 情報の継続（特に小規模自治体）
 - 参加者の拡大（多様化）に伴うニーズの多様化への対応
 - PJ終了後の恒常的連携体制の継続

- **人づくり（防災リテラシー向上）**
 - ・ 住民への周知、（自らの行動に結びつく）意識醸成
 - 周知する側（自治体、消防、警察等）のリテラシー向上
 - ・ 防災教育による子どもたち（を通じた大人）のリテラシー向上
 - 教師の育成
 - ・ 過去の災害 → 記憶（教訓）の継承と忘却
 - ・ 啓発用コンテンツ → 動画（汎用・地域）

- **平成31年度：北海道地域（留萌館内）、東北地域（青森県、山形県）、北陸地域（新潟県、富山県）、近畿・山陰地域（京都府、鳥取県）の4地域で7回の地域研究会を開催。**